

平成28年蔵王町議会第2回定例会

町長施政方針

蔵王町

(平成28年3月7日)

平成28年蔵王町議会第2回定例会が開催されるにあたり、ご審議いただきます平成28年度一般会計予算をはじめ、各議案の説明に先立ち、町政運営に対する私の基本的な考え方を申し述べ、町民の皆様、議員の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

はじめに、時の経つのは早いもので、間もなく東日本大震災から5年目の「3月11日」を迎えようとしております。

犠牲になられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますと共に、沿岸部市町村の一日も早い復興を、心より願うものであります。

さて、本日ここに出席されております議員の皆様は、先の選挙戦を乗り越えられ、町民の負託に応えていこうという決意を新たにしているのでないかと察しております。

一方、私は町長に就任してから12年目という3期目最後の年を迎えております。この3期目仕上げの年度を迎えるにあたり、二元代表制により運営される地方自治体の代表として、議員の皆様と手を携え、場合によっては大いに議論を交わしながら、皆様と同様に町民の負託に応えていく決意を新たにしているところであります。

まず、第189回国会における安倍総理の施政方針演説では、2年間の「三本の矢」の経済政策は確実に成果を上げていると述べているとおり、さまざまな経済指標において、わが国の経済情勢は比較的安定しているとされております。

また、外国人観光客の急増により、経済的に大きな恩恵を受けている地域もあることは、連日マスコミで取り上げているとおりであります。

しかしながら、本町においては、多くの町民の皆様は、こうした経済情勢を実感できていないの

ではないかと感じております。

基幹産業の1つ「農業」においては、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）が、今後の農産物の市場価格等にどのような影響を及ぼすか計りかねる中、米価の大幅な下落や生産調整における補助金の減額などにより、将来の展望が見通せない状況ではないかと考えております。

もう1つの基幹産業「観光」においては、東日本大震災及び福島第1原子力発電所の事故の影響などで、国内では、東北地方だけが外国人観光客が減少している中、去年の蔵王山火口周辺警報発表の影響が残っており、厳しい状況が続いているのではないかと考えております。

こうした現状を踏まえ、新年度においても地方創生事業等も活用しながら、農業、観光をはじめ、各種産業振興施策を実施していきたいと考えて

おります。

また、農家や個人事業主などが加入する国民健康保険については、新年度から保険税の税率を引き下げ、経済的負担の軽減を図って参ります。

東日本大震災で大きな被害を受けた方については、引き続き介護サービスを安心して受けられるよう、新年度も介護サービス利用者の一部負担金免除を継続して参ります。

次に、防災・減災対策について申し上げます。

ここ数年を振り返ると、平成23年の東日本大震災をはじめ、25年の春は観測史上に残る強風被害、26年2月には78年ぶりと言われる豪雪被害、昨年4月には蔵王山火口周辺警報発表と、私たちがかつて経験したことのない大きな災害などが、立て続けに起きております。

こうした中、本町では、災害からの復旧・復興

や防災・減災対策、更に風評被害対策などについては、比較的迅速に対応できてきたのではないかと考えております。

このことは、私が町長に就任当初から進めてきた行財政改革により、ある程度の基金を確保できていたことに加え、通年議会制度により、迅速に必要な補正予算等を可決決定いただいたおかげではないかと考えております。

議員の皆様並びに、行財政改革にご理解・ご協力をいただきました町民の皆様に、改めて深く感謝申し上げる次第であります。

私は、町民の生命と財産を守り、安心して暮らしていける環境を整えることは、行政にとって最重要課題であると認識しております。

新年度においても、こうした考えから防災サイレン・スピーカーの整備や自主防災組織の設立支援

などを強化するほか、地域と学校が連携した防災・減災教育などにも取り組んで参ります。

次に、地方創生事業について申し上げます。

昨年10月に実施した国勢調査の速報値では、本町の人口は12,324人になり、5年前に比べ533人・4.33%減少しました。

減少の要因を分析すると、平成23年1月から27年12月までの5年間で、社会増減は83人の減、自然増減は533人の減になっております。

このように、年々人口減少が進んでいる現状を踏まえ、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「蔵王町人口ビジョン」及び「蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を昨年11月に策定し、新年度から地方創生事業に本格的に取り組んでいくことにしております。

新年度においては、伝統こけし後継者育成事業、

農畜産物の地産地消・6次産業化推進事業などを予算化し、地域の伝統産業の継承や新たな販路開拓、ビジネス開発に官民協働で取り組んでいきたいと考えております。

移住・定住促進については、「みやぎ蔵王別荘協議会」やNPO法人などと連携し、お試し移住モデル事業などに取り組んでいきたいと考えております。

ふるさと納税については、新年度から、民間のふるさと納税専用の「インターネットサイト」での募集を開始すると共に、返礼品の種類を大幅に増やすなど、寄付金収入を増やしながら、町の特産品のPRに努めていきたいと考えております。

国の平成27年度補正予算で創設された地方創生加速化交付金事業については、本年夏の仙台空港民営化を見据えた、観光振興事業など2事業

を申請し、採択されれば新年度に繰越事業として実施することにしております。

次に、ホストタウンについて申し上げます。

本町は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、参加国との人的・経済的・文化的な相互交流事業を実施する場合、国から財政支援を受けることができるホストタウンとして、本年1月26日付けで1次登録を受けたところであります。

相手国は、本町と歴史的なつながりがあり、本年1月に「未来への交流・絆訪問団」を派遣したパラオ共和国で、青少年の相互訪問事業やオリンピック選手の合宿受け入れなどの交流事業を実施したいと考えております。

私は、訪問団の団長としてパラオ共和国を訪問し、本町の子どもたちに、オーシャンブルーに囲

まれた美しい景色の中で、親日的なパラオの人たちと交流することで、異文化を体験すると共に、日本の良さ、蔵王町の良さを再認識してほしいという思いを強くいたしました。

また、南国パラオの子どもたちには、冬の蔵王町で、雪遊びなどを体験してほしいと感じたところであります。

パラオ共和国オリンピック選手の合宿受け入れについては、クワルテイ国務大臣から、直前の事前合宿だけでなく、国民の悲願である「パラオ初のメダル獲得」に向け、強化合宿も受け入れてほしいというお話しをいただきました。

今後の交流事業の進め方について、パラオ共和国関係者とスムーズに交渉できるような体制を早急に整えると共に、町民の皆様と一緒に心のこもったおもてなしができるよう体制を整備して

いきたいと考えております。

次に、平成28年度以降の財政運営の見通しについて申し上げます。

地方自治体の財政状況は、一般的に各種財政指標及び地方債、基金の現在高などによって判断しますが、本町の「実質公債費比率」、「将来負担比率」などの財政指標は、国が定める財政健全化判断比率を大幅に下回っており、健全であることを示しております。

また、年々基金積立額は増加する一方、地方債の現在高は減少しているなど、現在のところ、健全財政を維持できていると考えております。

しかしながら、少子高齢化、人口減少により、長期的には、町税収入や地方交付税などの歳入が減少していくと見込まれる中、医療・介護などの社会保障費の自然増に加え、高度経済成長期に集

中的に整備した公共施設の老朽化に伴う、維持補修費や更新費用の増加は、避けることができない状況になっていると考えております。

児童・生徒数の減少に伴い、学校再編など時代に合った教育環境の整備も急務であると考えております。

蔵王病院・公立刈田総合病院については、厳しい経営状況が続き、本町の負担が増えているところではありますが、町民の生活を守るうえで、地域医療や二次医療・救急医療を維持していくことは、とても重要なことだと思っております。

仙南地域広域行政事務組合では、白石斎苑の建替え計画が進んでおり、平成29年度から建設負担金が増える見込みであります。更に、廃止した衛生施設については、近い将来において解体に伴う負担が増えてくると考えております。

以上申し上げたとおり、今後の見通しでは、避けることができない歳出が増えてくる状況ではありますが、将来にわたり本町が自立していくためには、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「移住・定住の流れをつくる魅力ある地域づくり」や「結婚・出産・子育てしやすい環境づくり」などの政策課題にも、積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

このように予想される今後の厳しい財政運営に対応するため、町民と行政が力を合わせ、最小の経費で、最大の効果が発揮できるような「協働のまちづくり」を進めることが、私に課された大きな使命であると考えております。

3期12年目の最終年度を迎えるにあたり、私はこのような覚悟を持って、全力で町政運営に臨む決意であります。

施政方針に続き、平成28年度の予算編成の基本的な考え方を申し上げます。

平成28年度一般会計予算の総額は、前年度に比べて2.1%、1億2,000万円減の56億3,000万円としました。

平成29年4月の操業開始を目指し、建設を進めている「仙南クリーンセンター」の負担金について、平成27年度限りで措置された震災復興特別交付税の前倒し分がなくなったことに伴い、歳入では地方交付税、歳出では衛生費が、それぞれ減額になったことが、予算総額が減額になった要因であります。

なお、平成28年度の主要事業・新規事業を一覧表として添付させていただきましたので参考にして頂ければ幸いです。

はじめに、主な歳入について申し上げます。

まず、町税では、町民税は、雇用情勢及び企業業績が比較的安定していると見込まれることから、前年度対比1.4%の増と見込んでおります。

固定資産税については、過年度分の滞納整理が進んでいることに伴い、滞納繰越分の収入額も減少すると見込まれることから、前年度対比0.6%の減と見込んでおります。

軽自動車税については、新年度から原動機付自転車などの税率が引き上げになることから、前年度対比9.5%の増と見込んでおります。

地方消費税交付金については、最近の消費動向などを踏まえ、前年度対比12.6%の増と見込んでおります。

地方交付税のうち、普通交付税は、国の地方財

政計画などを踏まえ、前年度より1億円増額とする一方、震災復興特別交付税については、仙南クリーンセンター負担金に係る措置分を減額し、全体では1.7%の減と見込んでおります。

国庫支出金については、土木費国庫補助金を前年度より減額する一方、地方創生事業に係る総務費国庫補助金、電気自動車充電施設設置に係る衛生費国庫補助金などを増額した結果、前年度対比2.7%増としたところであります。

県支出金については、緊急雇用対策事業の終了などにより、前年度対比26.2%の減としたところであります。

町債については、防災サイレン・スピーカ整備等の財源として、緊急防災・減災事業債を大幅に増額する一方、地方財政計画を踏まえ、臨時財政対策債を減額したことから、全体で16.6%の

減としたところであります。

最後に、繰入金については、B & G海洋センター増築工事の完成に伴い、公共施設等維持補修基金からの繰入れをなくしたことなどから、前年度対比19.0%減としたところであります。

なお、年々多様化し、増加する財政需要に対処するため、財政調整基金からの繰入れを、前年度より2,000万円増の1億8,000万円としたところであります。

次に、歳出予算における主な事業について、第四次蔵王町長期総合計画に掲げる「施策の大綱」ごとにご説明申し上げます。

健やかなまちづくり（保健・医療・福祉）
～みんなが、心も体も健康になる～

まず、健やかなまちづくりに向けてであります。

「蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という項目を基本目標の1つに掲げ、具体的な施策とその数値目標を設定したところであります。

本年4月から、地域福祉センター内に「子育て支援課」を新たに設置し、子育て支援の体制を強化することで、今まで以上にスピード感を持って各種施策を進め、この目標を達成していきたいと考えております。

また、新年度において、地域福祉センター内に子育て支援センターを設置し、小さなお子さん連れでも気軽に来館し、育児相談や情報交換ができるような環境を整備することにしております。

子ども医療費助成制度については、本年10月から、対象年齢の上限を、現在の15歳から高校を卒業する年代の18歳に引き上げ、制度の充実を図るほか、「すこやか養育助成金」、「乳幼児紙おむつ券助成」などの町独自の施策も継続し、子育て家庭の経済的支援に努めて参ります。

インフルエンザ予防接種については、受験期を迎える中学3年生の無料化やゼロ歳児から中学2年生までの一部助成を継続して参ります。

「あったか支援金」、「母子・父子家庭医療費助成制度」についても制度を継続し、ひとり親世帯の経済的支援に努めて参ります。

保育サービスでは、保育室増築工事の完了に伴い、宮保育所の定員を15人増の90人とし、永野保育所と合わせて、全体で165人に増員し、保育ニーズの増加に対処して参ります。

児童館については、新年度で円田児童館のトイレ改修、平沢児童館の屋根改修を行い、施設の利便性向上等に努めて参ります。

地方創生事業として実施する「子育て世代健康応援事業」においては、食育や運動を通じて、子育て家庭の健康的な暮らしをサポートできればと考えております。

高齢者や障がい者の福祉施策については、新たに精神障がい者の外出支援事業（タクシー利用料助成）を開始するほか、食の自立支援事業（配食サービス）、介護用品給付事業、障害者地域生活支援事業など、各種支援事業を継続し、よりきめ

細かに各種サービスの提供に努めることにしております。

地域医療の充実に向けては、地域の医師会、歯科医師会などと連携しながら、休日診療、救急診療の体制を維持すると共に、蔵王病院の体制強化を図り、必要な時に必要な治療を受けることができる医療体制を維持していきたいと考えております。

学び楽しむまちづくり（教育・文化・スポーツ）
～みんなが、生き生きとなる～

次に、学び楽しむまちづくりに向けてであります。

スポーツ振興については、新年度から B&G 海洋センター内に、スポーツ振興課を新たに設置し、スポーツ推進計画の策定に着手するなど、子どもから高齢者の方まで、より多くの方がスポーツに親しみ、健康で明るく暮らしていただけるよう、体制を強化することにしております。

こうした中、本町は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウンの1次登録を受けたことにより、国際交流やスポーツイベント開催などを実施しやすい環境が整ってきたところであります。

パラオ共和国との交流計画などを、早急に策定

し、町民の皆様と行政が一体となって、各種事業を進めていきたいと考えております。

スポーツイベントでは、昨年につき11月に「三遊亭円楽杯ゲートボール交流大会」を開催するなど、引き続きスポーツの振興と、交流人口の増加を図っていきたいと考えております。

学校再編については、昨年12月9日付けで、町長事務部局と教育委員会の職員で構成する「小中学校再編庁内検討委員会」から、中学校の統合について、検討結果の報告を受けたところであります。

この報告では、児童・生徒数の推移や昨年10月に策定した「蔵王山の噴火活動が活発化した場合の避難計画」などを踏まえ、多面的に検討した結果、3つの中学校のうち、遠刈田中学校と円田中学校の統合を優先し、速やかに実施すべきであ

るとされております。

この案をたたき台に、早急に有識者で組織する「小中学校再編実施計画策定委員会」で検討いただいたうえで、新年度のなるべく早い時期に、総合教育会議において、方針を決定したいと考えております。

学校教育については、スキー教室や地域の人と合同で実施する防災訓練などを継続し、すべての児童・生徒が、蔵王町の自然・文化・歴史に慣れ親しみ、創造性と人間性豊かな子どもに育つような環境の整備に努めて参ります。

更に、外国語指導助手による英語教育の充実や学び支援コーディネーター事業による学習支援、学校図書支援員による学校図書室の機能充実など、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを継続することにしております。

また、「特別教育支援員」9名を配置し、特別な支援を必要とする児童・生徒一人ひとりのニーズに適切に対応するほか、スクールソーシャルワーカーやいじめ防止専門委員会を設置し、児童・生徒の健全育成に努めて参ります。

施設の整備では、小学校の教室に計画的にエアコンを設置することにし、新年度においては、永野小学校の低学年教室に設置いたします。

また、宮小学校相撲場屋根修繕工事、円田中学校雨漏り修繕工事、宮幼稚園屋根・床修繕工事などを実施し、施設の適切な維持管理に取り組んで参ります。

生涯学習分野では、ふるさと文化会館の太陽光発電システムを改修するほか、多目的ホールの映写機を、より鮮明なブルーレイ対応のプロジェクターに更新し、利便向上を図っていくことにより参ります。

美しい快適なまちづくり（環境・生活基盤）
～みんなが、誇りを胸に～

次に、美しい快適なまちづくりに向けてであります。

地球温暖化が進むとされる中、環境問題は、全世界の人々が共通で取り組むべき大きな課題とされており、昨年フランスで開催された「気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）」においては、気候変動に関する2020年以降の新たな国際枠組みである「パリ協定」が採択されたところでもあります。

本町においては、地球環境にも配慮した「循環型地域社会」の形成を目指し、平成23年度から「住宅用太陽光発電システム設置事業補助金」を実施しているほか、小・中学校や幼稚園など公共施設の照明器具LED化なども、積極的に進めてきたところでもあります。

新年度においては、こうした取り組みを継続するほか、公用車1台を電気自動車に更新すると共に、一般の方も利用できる「電気自動車用急速充電器」を役場正面の駐車場に設置することにしております。

また、蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、本町の魅力のひとつである豊富な自然資源、恵まれた環境を守り、情報を発信することで「蔵王町への新しい人の流れをつくる」という基本目標を掲げております。

新年度においては、蔵王の自然の生い立ちやその恵みを、子どもや地域の人たちに伝える出前講座、ジオパーク教室などを継続するほか、蔵王山頂レストハウスなどにパネルを展示し、学術的な観点から、蔵王の自然環境をPRしていくこととしております。

道路整備では、引き続き「城山線」、「湯口線」の改良工事を進めるほか、新年度から台町鎌倉線「学校前橋」の架け替え工事に着手することにしております。

下別当1号線については、改良に向け測量・設計を進めていくほか、総合戦略策定のため実施したアンケート調査で「地域公共交通の利便性向上」という要望が多かったことを踏まえ、JR東白石駅へ通じる歩道橋の概略設計も実施することにしております。

また、老朽化した除雪機械1台を更新するほか、町道等の維持補修・改修工事費を増額し、安全で快適な道路の維持・整備に努めて参ります。

都市公園については、新年度に「公園施設長寿命化計画」を策定し、施設の計画的な維持管理に努めていきたいと考えております。

公営企業会計になりますが、上水道については、国道4号拡幅工事と合わせて水道管の移設工事を継続するほか、新年度から宮司区の町道田中欠前線 水道管布設工事に着手するなど、水道施設の計画的な整備、維持管理を行って参ります。

活気あるまちづくり（産業）

～みんなが、元気になる～

次に、活気あるまちづくりに向けてであります。

まず、冒頭で申し上げたとおり、本町の基幹産業である「農業」と「観光」は、非常に厳しい状況にあるものと認識しております。

こうした中、新年度は、地方創生推進事業として、地産地消・6次産業化を推進することとし、町内の飲食店や観光事業者などが、地場産品を調達しやすい集荷・配送の仕組み作りなどに取り組んでいきたいと考えております。

有害鳥獣対策については、電気柵設置事業、駆除隊員育成の補助金などを継続するほか、広域的なサル駆除対策の予算を大幅に増額し、被害の軽減に努めていくことにしております。

また、水産業においては、カワウによる被害が

増えていることから、駆除対策事業を進めていくことにしております。

円田 2 期地区ほ場整備事業については、平成 27 年度に換地が終了しましたが、補完工事等が残っているため、新年度においても事業負担金を予算化し、生産基盤をしっかりと整備していくことにしております。

商工観光部門では、昨年 4 月に蔵王山火口周辺警報が発表されましたが、6 月の警報解除後は、火山活動が平穏化していることから、「日本の蔵王ヒルクライム・エコ 2016」大会を 2 年ぶりに開催し、蔵王の素晴らしさと安全性を、全国に発信していきたいと考えております。

また、近隣市町に多くの花見客が訪れる時期にあわせ、開通前の蔵王エコーラインを歩く「雪の壁ウォーク」を開催し、仙南地域全体の観光誘客

につなげたいと考えております。

更に、蔵王山火山活動活発化に伴う風評被害対策として、平成27年度に続き、ツアー商品造成などを町観光物産協会に委託し、地域経済の活性化を図って参ります。

蔵王町観光物産協会については、本年4月に任意団体から一般社団法人に移行する予定になっておりますので、観光関係の専門職員を配置するなどの組織体制強化を、支援して参ります。

遠刈田伝統こけし工人については、平成21年度から23年度にかけて、国のふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、3人の若手工人を育成したところではありますが、依然として後継者不足が続いていることから、新年度から、地方創生事業において、新たに3人の若手工人を育成することにしております。

地方創生加速化交付金事業では、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送がはじまり、注目が集まっておりますので、白石市、由利本荘市と連携し、「みちのく真田ゆかりの地事業」を申請しているところであります。

申請が認められれば、矢附地区にある真田家の墓地周辺の公園整備などを実施し、歴史遺産のPRと、交流人口の増加につなげていきたいと考えております。

また、外国人観光客の誘客を目的に「世界に向けた蔵王のシンボル『樹氷』プロモーション事業」も申請しており、認められれば、観光看板・パンフレットの多言語化や貸し自転車の整備、インバウンドツアーなどを実施し、外国人観光客の増加につなげていきたいと考えております。

共に創るまちづくり (町民参加・安全・行政運営)
～みんなが、一緒に～

次に、共に創るまちづくりに向けてであります。

防災・減災対策については、冒頭で申し上げたとおり、風水害や土砂災害、地震、噴火など、いろいろな災害を想定した対応が求められているところでもあります。

こうした状況において、町民の安全・安心を守っていくためには、「自助」、「互助」、「公助」の精神に基づき、行政と町民の皆様が役割を分担し、助け合う必要があると考えております。

この中心的な役割を担う自主防災組織については、設立支援・指定避難所太陽光発電システム設置の補助を継続するほか、行政区との連携を深め、できるだけ早く町内各地で、設立を進めていきたいと考えているところでもあります。

防災、減災の設備では、新年度は、平成27年度に設置した防災サイレン・スピーカの遠隔操作化を進めるほか、防災GIS（地図情報）システムの本格的運用を開始し、災害発生時の避難誘導等に活用することにしております。

消防・火災予防について申し上げます。

平成27年中の本町内の火災発生件数は30件で、過去最悪の件数になりました。

このうち、発生原因不明のいわゆる不審火は、14件と半数近くに達し、町民の皆様は大きな不安を募らせたのではないかと考えております。

新年度においては、平成27年度に続き、消防団員による巡回広報、見回りなどを強化すると共に、消防署や婦人防火クラブなどとも連携し、各家庭における防火意識向上の啓発活動を続けていきたいと考えております。

施設整備では、根方班、北山班の小型消防ポンプを更新し、万が一の事態に備えて参ります。

財政健全化に向けては、私が10年前に行財政改革を断行した際、町民の皆様に多大な負担をお掛けしたほか、私自身も相当苦勞した経験を踏まえ、次代を担う子どもたちに、過大な負担を残すことにならないよう、将来を見据えた財政運営を進めていきたいと考えております。

新年度においても、将来の町債繰上償還などに備え、減債基金への積立を継続するほか、歳入になります。町債の発行については、将来の実質的な財政負担等も考慮しながら、適正水準を維持していくことにしております。

また、公共施設総合管理計画を策定し、施設の適正な維持補修と管理・更新費用などの平準化を図り、長期的には経費の節減を図ることができれ

ばと考えております。

最後に、町の長期総合計画について申し上げます。

現在進行中の10ヶ年計画、「第四次蔵王町長期総合計画」は、新年度で9年目に入り、仕上げの時期を迎えようとしております。

新年度においては、この第四次計画に次ぐ「第五次蔵王町長期総合計画」策定に向けた準備を進めていくことにしております。

「第五次蔵王町長期総合計画」は、平成30年度からの行政運営の基本計画になりますので、新年度から2ヶ年かけて、町民の皆様の意見を踏まえながら、慎重に策定したいと考えております。

新年度では、第四次計画の検証、子どもや若者、有識者からのヒアリング調査などを行い、町の現

状と課題の整理などを行う予定にしております。

以上、平成28年度を迎えるにあたり、私の町政運営に関する基本的な考え方と、平成28年度予算編成及び事業方針などを申し上げ、施政方針といたします。

町民の皆様並びに議員の皆様の一層のご理解とご協力、そしてご支援を、心からお願い申し上げます。

平成28年度当初予算の主要事業（一般会計）

単位：千円

担当課	事業名	金額
総務	業務用パソコン購入費・セットアップ料	7,291
〃	広報ざおう印刷製本費	6,498
〃	役場庁舎地下タンク改修工事費等	新 4,791
〃	交通指導隊員報酬・出動手当等	3,913
〃	防犯実働隊員報酬・出動手当等	3,695
〃	参議院議員選挙費	新 10,184
〃	蔵王町長選挙費	新 8,166
〃	仙南広域消防費負担金	158,153
〃	消防団員報酬・出動手当等	28,735
〃	防火水槽用地測量及び登記委託料	新 2,000
〃	小型消防動力ポンプ購入費	3,132
〃	防災サイレスピカ設備整備工事費・設計管理委託料	新 27,080
〃	指定避難所用太陽光発電システム設置事業補助金	6,000
まちづくり推進	減債基金積立金	30,000
〃	ふるさと応援寄附報償費・取扱業務委託料等	5,050
〃	町民バス運行・町民タクシー委託料	9,903
〃	地方バス路線維持費補助金	5,500
〃	公共施設等総合管理計画策定支援業務	新 2,000
〃	第5次長期総合計画策定支援業務委託料	新 3,780
〃	町債元金償還金	457,791
〃	町債利子償還金	44,914
町民税務	固定資産標準宅地鑑定評価委託料	新 9,720
〃	国保特別会計繰出金（子ども医療費波及分含む）	130,686
〃	後期高齢者医療療養給付費・事務費負担金	149,295

担 当 課	事 業 名	金 額
町 民 税 務	後期高齢者医療築別会計繰出金	42,653
〃	子ども医療費助成金	45,300
〃	心身障害者医療費助成金	25,980
〃	母子・父子家庭医療費助成金	1,620
保 健 福 祉	高齢者各種生活支援業務委託料	9,296
〃	敬老会負担金	4,056
〃	老人福祉施設措置費	7,632
〃	介護保険事業低所得利用者負担対策給付費	1,836
〃	介護用品給付費	3,840
〃	介護保険特別会計繰出金	141,253
〃	障がい者各種生活支援業務委託料	5,441
〃	障がい者小規模作業所運営費補助金	2,400
〃	障害福祉サービス介護給付・訓練等給付費	209,436
〃	自立支援医療給付費	11,941
〃	社会福祉協議会助成金	15,603
〃	臨時福祉給付金	15,000
〃	在宅当番医・歯科休日診療所事業委託料	1,152
〃	病院群輪番制負担金	2,432
〃	各種健康診査・がん検診委託料	26,509
〃	高齢者インフルエンザ・肺炎球菌予防接種委託料	9,580
〃	健康増進計画・食育推進計画策定支援業務委託料	新 2,840
〃	蔵王病院補助金・出資金	96,761
〃	刈田総合病院補助金・出資金	134,047
子 育 て 支 援	あったか支援金	4,000
〃	子どものための教育・給付費	新 1,200
〃	児童手当	185,300

担 当 課	事 業 名	金 額
子育て支援	円田児童館トイレ・照明器具、平沢児童館屋根改修工事費 新	14,384
〃	各種予防接種委託料・助成金	27,532
〃	妊婦健康診査委託料	7,800
〃	子育て支援センター改築工事費・備品購入費 新	25,100
環境政策	電気自動車用急速充電器設置工事費・設計委託料 新	9,500
〃	公用車（EV車）購入費 新	2,484
〃	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	6,792
〃	住宅用太陽光発電システム設置事業補助金	5,000
〃	水道事業会計補助金・出資金	51,341
〃	塵芥収集運搬委託料	46,916
〃	仙南広域ごみ処理施設負担金	175,086
〃	仙南広域し尿処理施設負担金	35,005
農林観光	園芸特産重点強化整備事業費補助金	12,282
〃	農作物有害鳥獣駆除対策・担い手育成事業補助金	5,247
〃	野生鳥獣被害防止施設設置事業補助金	5,000
〃	南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会負担金	4,299
〃	各種畜産振興事業助成金	3,211
〃	円田2期地区県営ほ場整備事業負担金	12,500
〃	蔵王町土地改良区事業費・事務費補助金	3,700
〃	町商工会助成金	5,886
〃	とおがった大道芸20補助金	1,800
〃	観光パンフレット等印刷製本費	5,537
〃	観光広告料	5,738
〃	町観光物産協会助成金	7,602
〃	日本の蔵王ヒルクライム大会負担金	5,000

担 当 課	事 業 名	金 額
建 設	農道・排水路等維持補修工事費・資材費	18,810
〃	除融雪作業委託料	10,000
〃	町道維持補修工事費・資材費	38,435
〃	除雪機械購入費 新	34,560
〃	町道下別当1号線委託料	15,150
〃	城山線・湯口線・学校前橋改良工事費	112,200
〃	町道用地購入費	12,400
〃	支障電柱移設工事負担金	5,400
〃	支障物件等移転補償費	29,000
〃	橋梁局部補修工事費	5,760
〃	環境美化保全事業費	9,591
〃	白石川歩道橋外概略設計委託 新	2,100
〃	公共下水道事業特別会計繰出金	171,148
〃	公園施設長寿命化計画策定委託 新	10,000
〃	農業用施設災害復旧工事費・資材費	3,639
〃	道路、河川、局部災害復旧工事費・資材費	5,670
教 育 総 務	特別支援教育支援員賃金	11,340
〃	外国語指導助手業務委託料	9,504
〃	学び支援コーディネーター等謝金	3,337
〃	学校図書支援員賃金・法定福利費	2,868
〃	宮小相撲場屋根修繕・永野小エアコン設置等工事費 新	12,050
〃	円田中 雨漏り修繕・職員室等エアコン設置工事費 新	5,070
〃	宮幼稚園修繕工事費（屋根・床） 新	3,710
〃	学校給食調理業務等委託料	30,423
〃	学校給食材料費	56,810
生 涯 学 習	文化会館自主公演業務委託料	2,475

担 当 課	事 業 名	金 額
生涯学習	文化会館太陽光発電システム改修工事費 新	4,819
〃	図書資料購入費	4,000
〃	谷地遺跡整理作業員賃金	26,880
〃	ほ場整備遺跡調査作業員賃金	3,190
〃	谷地遺跡出土遺物年代分析委託料	2,273
〃	県指定文化財「刈田嶺神社本殿」保存修理事業助成金	2,150
〃	協働教育プラットフォーム事業費	2,988
スポーツ振興	スポーツ団体助成金・各種スポーツ大会負担金	2,566
〃	三遊亭円楽杯ゲートボール大会負担金	1,600
	【地方創生推進事業】	
まちづくり推進	移住・交流推進支援事業委託料 新	2,608
保健福祉	子育て世代健康応援事業委託料 新	999
子育て支援	特定不妊治療費助成費 新	200
〃	乳幼児紙おむつ券助成費	4,320
〃	すこやか療育助成金	6,300
農林観光	地産地消・6次産業化推進事業費 新	5,589
〃	伝統こけし工人後継者育成事業委託料 新	10,698
〃	観光客誘客促進事業委託金 新	9,150
〃	観光振興体制充実強化事業補助金 新	8,750